

日本初
開催!

東京2025デフリンピックが大田区にやってくる!

区では、大森ふるさとの浜辺公園でビーチバレーボール、大田区総合体育館でバスケットボールの試合が行われます。代表選手の皆さんに、大会への意気込みとデフスポーツ観戦の楽しみ方を教えていただきました。

出場選手に聞きました 競技の見どころ・大会への意気込み



大田区
出身

瀬井 達也選手

競技の見どころ

広いコートで2人が動き回ってボールを拾う姿、特にこのボールは無理なんじゃないかと観客の皆さんが思うボールでも全力で取りに行く姿に注目してほしいです。また、ペアの今井選手がトスを上げて、僕がスパイクを打つことが多いので、個人のプレイとしては強いスパイクを打つところをぜひ見てほしいです。

大会への意気込み

試合に向けて頑張るという気持ちは変わらずありますが、今回のデフリンピックは地元開催というのが自分の中で大きいです。家族や友人、会社の方にも見に来てもらえるので、応援してくれる方たちのためにも、さらにいいプレイをして、勝ちに行くことにこだわりたいと思っています。

デフビーチバレー独自の応援

デフスポーツの応援としてサインエールはもちろんありますが、デフビーチバレー独自の応援スタイルもあります。例えば、選手がブロックを決めた時に、観客もブロックのように両手を上げて一緒に盛り上がる瞬間は最高です。会場が一体となって盛り上がる雰囲気も楽しいポイントですので、ぜひ応援に来てください!



今井 勇太選手

競技の見どころ

私たちは声でコミュニケーションが取れないため、ペアや相手コートをよく見てプレイしています。視野の広さと空間感覚に注目してもらえると観戦をより楽しめると思います。

大会への意気込み

ビーチバレーでのデフリンピック参加は3回目となりますが、今回が一番メダルを狙えると思っています。皆さんの応援を力に変えて、メダルを取る瞬間をお見せできるよう頑張ります!



川島 真琴選手

若松 優津選手(キャプテン)

競技の見どころ

バスケットボールは、コミュニケーションが重要なスポーツです。早い展開の中で手話言語やサイン、アイコンタクトを駆使した、音のない世界ならではのコミュニケーションに注目してください!

大会への意気込み

私たちにとってデフリンピックは最高峰の世界大会なので、代表として出場できることを誇りに思っています。また、ろうの文化を皆さんに知ってもらえる良い機会でもあるため、特別な感情を持っています。ぜひ会場でデフスポーツの世界を感じてください。

デフアスリートを手話言語で応援!「サインエール」をやってみよう

サインエールとは、今大会に向けて作られた、手話言語をベースにした目に見える応援スタイルです。

おおたオリジナル応援動画はコチラ



区ゆかりの選手をみんなで応援しよう!

浅井啓太選手	ハンドボール
中島梨栄選手	ゴルフ
町田瑠音選手	陸上4×400mミックスリレー、4×400mリレー
宮田夏実選手	サッカー
村田悠祐選手	陸上400mハードル、4×400mリレー

未来をつくる
おおたアクション!



誰もが自分らしく安心して暮らせる地域社会の実現

「東京2025デフリンピック」は、きこえない・きこえにくい人ときこえる人が信頼の絆を深める絶好の機会です。区は、誰もが共に手を携える共生社会をめざしており、この大会を契機に、きこえない・きこえにくい人への理解が広がり、コミュニケーションや心のバリアフリーがさらに進むことを期待しています。

おおた みんなのつどいプロジェクト

障がいのある、ない、にかかわらず、誰もがいきいきとした人生を送ることができる共生社会の実現に向けた取り組みです。障がい者施設のお祭りなどで、障がい理解の啓発活動やスタンプラリーを実施しています。

12月3～9日は障害者週間

総括
イベント

障害者週間に合わせて、各種表彰、デフバドミントン伊東勇哉選手の講演、よしもと手話ブ!と大根ちゃまのステージなどのイベントを開催します。

📅 12月6日(土)午後1時30分～3時45分 📍 大田区民プラザ 甲 当日会場へ

問 障害福祉課障害者支援担当 TEL 5744-1251 FAX 5744-1555

みんなでつくる、やさしい社会

「障がいって、具体的にどういうこと?」「困っている人がいたら、どう手助けすればいいの?」といった疑問や迷いはありませんか? そんな時は「もっと!身近な障害者差別解消法」をぜひご覧ください。障がいに関する身近なエピソードを会話形式で紹介したり、クイズで分かりやすく楽しみながら、「障がい理解」を深めることができます。今後もさまざまなコンテンツを発信していきます。

